



ステークホルダーS

[北海道大学ほか]

気候変動を踏まえた
水災害リスク評価手法に関する
最新の研究と今後の動向



気候変動による水災害リスク増大に対する、日蘭のリスク評価手法の比較や最新の研究成果、社会実装への取組が紹介された。(参加者：75名)

プレナリーセッションでは、芝浦工業大学の平林教授、独国マックス・プランク気象研究所のKlocke博士、アリゾナ大学のCondon准教授が登壇し、気候変動下における農業生産インフラの課題をテーマとして、水循環、地下水の役割などが紹介された。(参加者：320名)

ステークホルダーS

[建設コンサルタンツ協会]

気候変動や流域治水に関する
実務者の取り組み事例の紹介



災害情報をリアルタイム提供プラットフォームや、GPSを利用したダム管理、仮想着色砂モデルの開発が紹介された。(参加者：45名)



ステークホルダーL

[農林水産省]

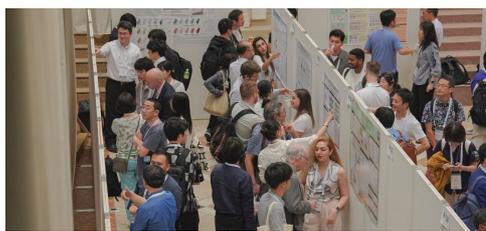
気候変動下における
農業生産基盤整備の対応

気候変動の影響による国際的課題の解決に向けた、農業生産基盤整備を中心とした国内外の取組や研究について意見交換を行った。排水機場の整備、農業用ダムの洪水調節機能の強化、田んぼダムの推進、水管理の自動化等の農林水産省が現在行なっている、農業側からの治水対策の紹介も行われた。(参加者：60名)



学術セッション29

洪水研究の進展、その予測、
影響評価、緩和戦略
気象から流域、河道、氾濫原まで幅広い領域を対象とした洪水氾濫に関する発表がされた。(参加者：50名)



学術セッション14

データとモデルによる対流圏と成層圏のエネルギーと水循環の理解
対流圏中層から成層圏における気温、水蒸気や水の安定同位比などについて発表された。(参加者：50名)



学術セッション5

降水の理解と全球降水実験(GPEX)
降水システムの時空間的な特徴と要因に関する研究成果やGPEXの活動における今後の課題について議論が交わされた。(参加者：50名)

学術セッション23

人間-気候-水のつながり、
水の安全保障、管理、持続可能性
現在の仮想水の取引状況や将来予測、
全球規模の気候と灌漑に関する研究が発表された。(参加者：120名)

学術セッション20

アジアモンスーン・フィールド
キャンペーン(AsiaPEXとAMY-II)
のための観測とモデリング
AsiaPEX設立の背景とアジアにおける降水の理解に向けて様々な議論が展開された。(参加者：230名)

学術セッション9

大気陸面相互作用と
蒸発散における地表面温度の活用
蒸発散フラックスのデータセット間
不確実性と、モデルの高度化に関する発表がされた。(参加者：80名)

学術セッション19

水、エネルギー、炭素循環の観測
ギャップを埋めるための新しい観測
リモートセンシングを活用した革新的な観測手法の数々が紹介された。(参加者：90名)



GEWEXとは

全球エネルギー・水循環プロジェクト (GEWEX) とは、国際学術会議 (ISC)、世界気象機関 (WMO)、ユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC-UNESCO) が共同出資する世界気候研究計画 (WCRP) が進めるコアプロジェクトのひとつです。地球の地表、地下、大気における水とエネルギーの循環過程の理解促進を目的に、この分野の研究推進のプラットフォームを提供しています。